



温故知新

学 園 長 小 島 澄 人

小学生の時初めて知ったこの言葉、「温故知新」、68になるこの年まで、常に追い求めてきたつもりでした。もう限界に近づきました。まわりのスタッフに任せ

るようになってしまっている、幼稚園の広報です。携帯電話から始まりスマホ、幼稚園の新聞を発行して頑張っていたと思ったらパソコン、そしてホームページ、またまたアプリ、タブレット、幼稚園にも普通に使うようになりました。もう眺めているだけです。段々「温故」に偏りがちになってきました。書類もインターネットで繋がり、申請まで済ますようになり、私の出る幕は一体何だろう。税金、源泉、市民税までもが銀行に行かなくても出来るようになりました。私の出番は・・・。

幼稚園、柿の実は60年、玉川中央は57年、夢の森は17年、施設や自然は常に手入れをし続けなければなりません。そしてその中で遊ぶ子どもたちはいつまでも変わらない、そだ、施設の管理と元気で明るい子どもたちの為にもう一踏ん張りだ、の思いでがんばります。幼稚園を見て廻ると本当にたくさんの補修箇所やリフォームしなくてはいけない、ここ20年は柿の実幼稚園はそのままでした。夢の森に必死に取り組んで10年、玉川中央にもう6年、その間にたくさんの保育園を立ち上げてきましたが、法人本部のある柿の実は自然の力に任せっきりでした。財源はなくなりましたが、古くなった物は変え、腐食し始めている物を取り替え、工夫したい。門からの石畳は、40年前に私が手がけたのですが、周りに植えたくぬぎや銀杏の根が大きくなり持ち上げられ割れたりはずれたり、池やせせらぎ、その周りに植えた木々も大きくなりました。職員室前のタイルが20枚余りはがれたので、休みに張り替えましたが、まだやれると確信しました。次は池の前の木の剪定、日曜日が来るのが楽しみです。

幼稚園のあちこちに図書室を設けていますが、今度思い切って業者に任せて「森の図書館」を、考えています。広々した空間、くつろげる空間、癒やしを求めてやって来る、そんな図書館にしたい。また50年経った「なかよし館」、次の建物構想を考える時期に来ました。

自然も広い、柿の実に夢の森、そして小野路農園。小野路はただ今玉川中央、幾つかの保育園が使っていますが、何年かすると農園ばかりで無く、果樹園にはたくさんの柿、みかんが収穫できるようになります。保護者の方にも提供したいと思っています。

あまり寒くない年ですが、子どもたちは元気です。コロナも落ち着きははじめ、ちょっとした「ほっ」のひとつときです。気を緩めず一日一日を元気に過ごしたいと思います。

